日時　2021年10月24日（日）
　　13:30～16:30
場所　京都市中京区烏丸通御池上る
　　登録会館大ホール
主催　京都市ごみ減量推進会議
　　（公財 京都市環境保全活動推進協会）

本日の登壇者（登壇順）

高月　紘さん　環境まんが家，ハイムーンのペンネームで有名

中野　晋さん　京都市循環型社会推進部部長

浅利美鈴さん　京都大学地球環境学堂准教授

原田禎夫さん　プロジェクト保津川代表理事，大阪商業大学准教授

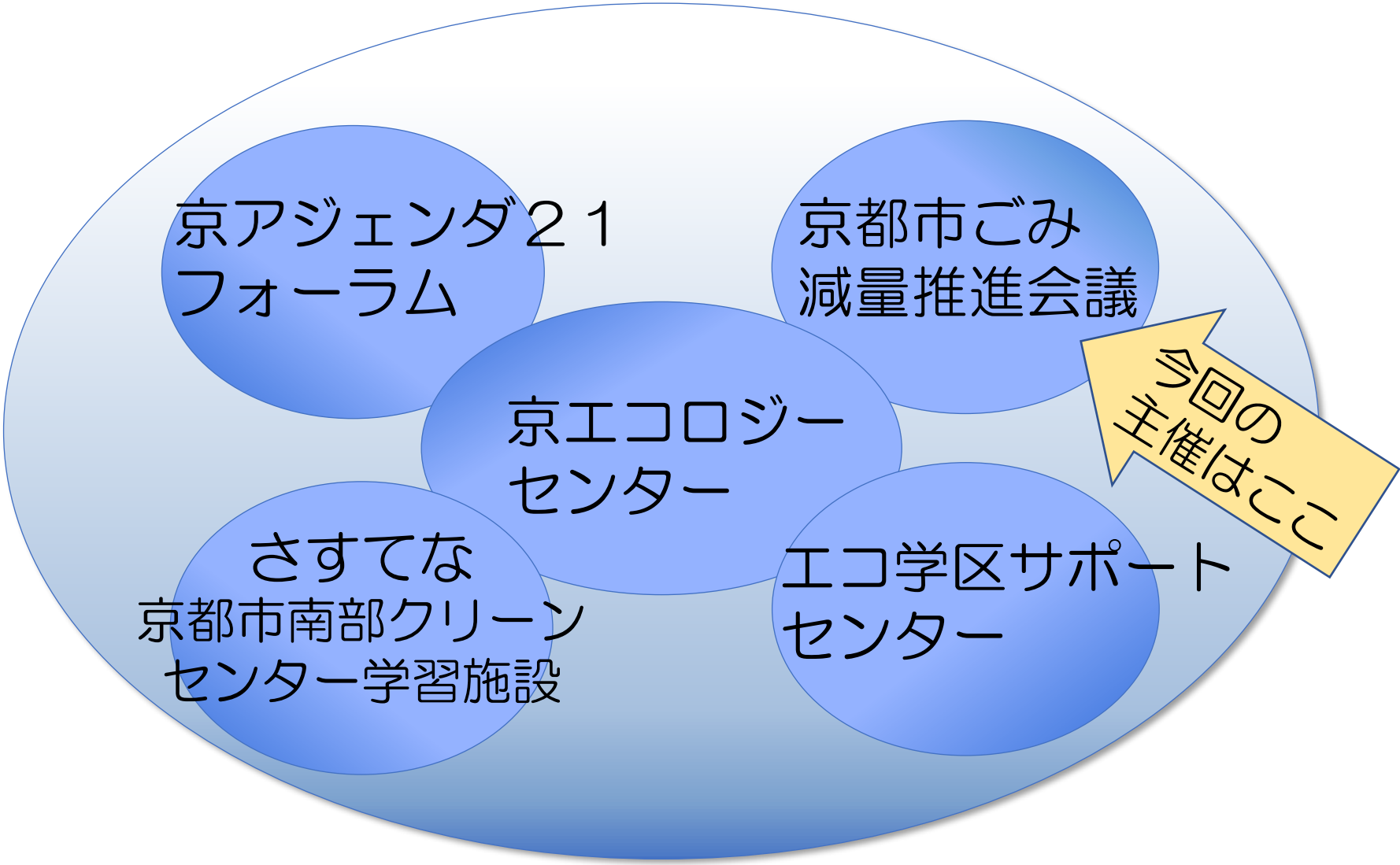
堀　孝弘　京都市ごみ減量推進会議（**司会**も兼ねます）

主催　京都市ごみ減量推進会議（公財 京都市環境保全活動推進協会）

今日の内容（時間は目安です）

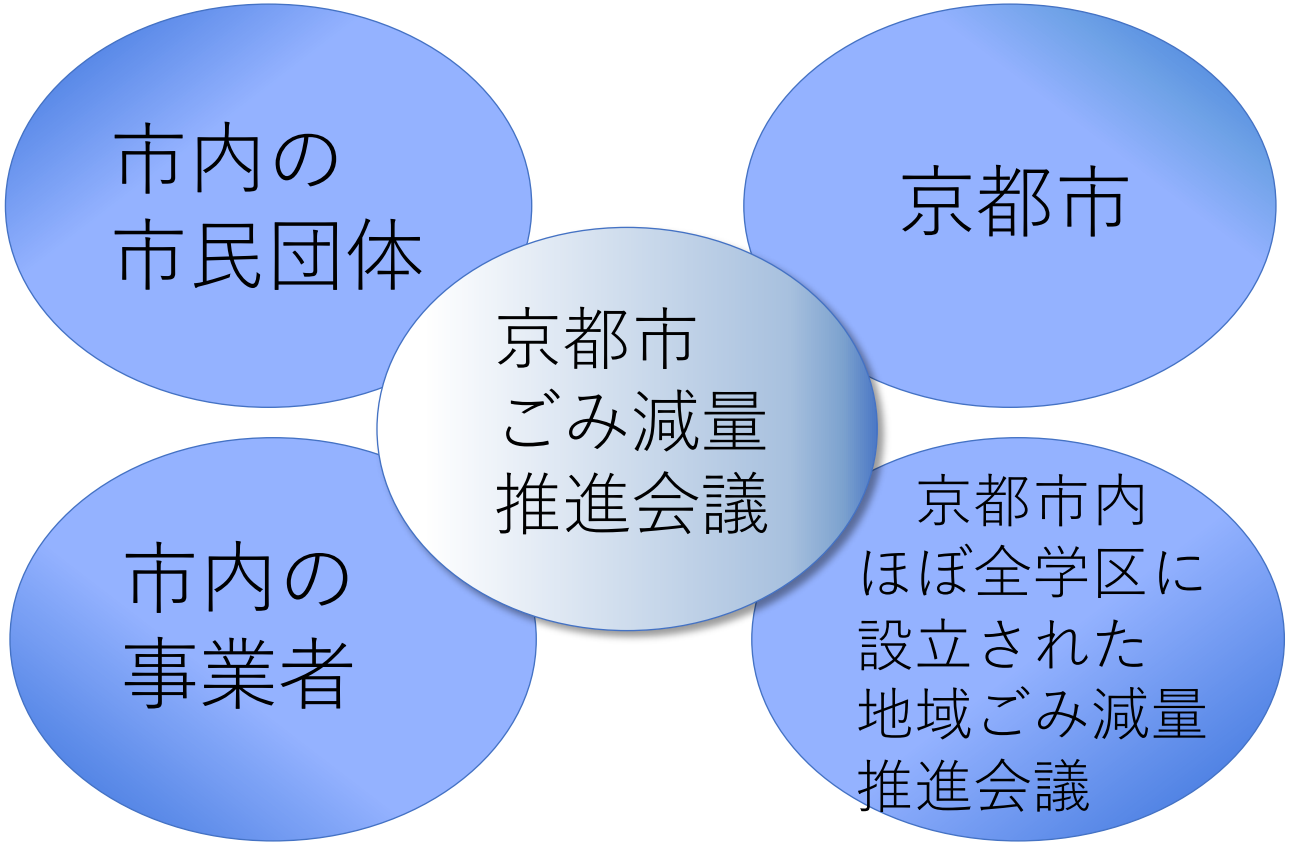
13:30　登壇者の紹介、主催団体の紹介、開催主旨
13:40　環境漫画家　高月 紘（ハイムーン）氏
　マンガでプラスチック問題を考えよう
14:00　京都市循環型社会推進部 部長　中野 晋氏
　「京・資源めぐるプラン」の策定経緯と意義
14:20　京都大学准教授　浅利美鈴氏
　キャンパスから地域へ活動
14:50　休憩（換気）
15:00　大阪商業大学 准教授　原田禎夫氏
　保津川から考える海と川のプラスチックの話
15:30　京都市ごみ減量推進会議　堀　孝弘
　ごみ減からの活動報告
15:45　ディスカッション
16:25　今後のお知らせ
16:30　終了

（公財）京都市環境保全活動推進協会



これら施設・組織の指定管理，運営を行っている。

京都市ごみ減量推進会議
１９９６年に設立　会員５００団体超



2019年3月公益財団法人京都市環境保全活動推進協会と統合
財源の大部分は，京都市からの事業委託金。他に会員の会費，事業収入がある。
京都市ごみ減量推進会議は，京都市ではできない，できにくい活動に取り組む。

ごみ減のおもな活動

岡崎公園フリーマーケット

◆今回の講座の開催主旨

海洋プラごみ問題に世界が注目

日本国土への
漂着ごみ

年間30万トン～60万トン

世界の陸地から
毎年800万トン以上の
プラごみ流出

世界の海に
5兆個以上の
プラスチックごみ

太平洋に
巨大なごみの島

2050年には、海の魚より
プラごみの方が多くなる
（重量ベース）

生き物たちの被害

プラスチックごみ輸出問題が表面化

海洋プラスチックごみ問題

大きな問題だが、私たちの暮らしが**起点**になっている。

海洋プラごみ

遠い問題？

プラスチックの便利さ　**消費拡大**

リサイクルが盛んに　**海外に頼ったリサイクル**

輸出先は海洋流出の多さが指摘されている国

今も多い川ごみ

海岸漂着ごみにも日本製プラごみが多い

私たちの暮らし

日本も動き出した…

2015年9月　**国連SDG’sサミット** 17の目標

目標14「豊かな海を守ろう」

2025年までに、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に減少させる

2016年1月　**ダボス会議**　海洋プラスチックごみへの関心が高まる

2016年5月　Ｇ７伊勢志摩サミット

2016年12月 環境省海洋プラスチックごみシンポジウム

2017年6月　国連海洋会議　漁業資源減少、海洋酸性化、海洋プラごみ

2018年6月　Ｇ７シャルルポワサミット（カナダ）

「海洋プラスチック憲章」アメリカと日本が署名拒否）

2019年6月　Ｇ２０大阪サミット

開催までに「プラスチック資源循環戦略」を策定

2020年７月　**全国の小売店でレジ袋有料化**

2021年6月　プラスチック資源循環促進法成立

2021年8月　**プラスチック製スプーン等カトラリー、ホテル等のアメニティ用品などの有料化方針**（2022年4月）

世界は，脱使い捨てプラスチックへ

最近のニュースより

レジ袋の有料化や禁止は，西欧だけでなく，アジア・アフリカ諸国にも広がっている。

フランス　2016年8月

プラスチック製使い捨て食器の禁止に関する政令を公布（2020年施行）

2015年エネルギー転換法75条で使い捨てプラの削減を打ち出す

イギリス　2018年5月

使い捨てプラスチック「全面禁止」へ、海洋ごみを撲滅

「プラスチックごみはイギリスが直面する最大の環境問題の1つである」メイ首相

台湾　2018年2月

使い捨てプラスチック製品を2030年までに全面禁止（タピオカのストローも）

韓国　2005年以降

１回用品（使い捨て用品）規制（ホテルのアメニティグッズも含む）

Ｇ７　2018年6月

カナダサミットで「海洋プラスチック憲章」　日米は署名せず。

２０３０年までにすべてのプラスチックを再利用や回収可能なものにすることなどを目指す

2021年３月策定の京都市新計画

京都市循環型社会推進基本計画

同計画には、
画期的な計画目標が
掲載されている。

2021年３月策定の京都市新計画
京都市循環型社会推進基本計画

		2000年度実績	2019年度**実績**	2030年度**目標**
[3]	レジ袋使用量（家庭）	5,200トン	2,500トン	**400トン**
	市民1人当たり	340枚	220枚	**35枚**
[4]	ペットボトル排出量（家庭）	3,600トン	3,400トン	**1,600トン**
	市民1人当たり	90本	90本	**45本**
[5]	使い捨てプラスチック排出量	6.0万トン	5.1万トン	**—***
	食品ロス排出量	9.6万トン	6.1万トン	**4.6万トン**
	市民1人1日当たり	179グラム	114グラム	**87グラム**

同計画
28ページ
の部分拡大

しかし、
　目標を立てれば、自動的に実現するわけではない。
さらに、
　使い捨てプラスチックの削減目標は、
　「計画中間年にあらためて設定」することになった。

2021年３月策定の京都市新計画
京都市循環型社会推進基本計画

2000年度実績　2019年度**実績**　2030年度**目標**

[3]	レジ袋使用量（家庭）	5,200トン	2,500トン	**400トン**
	市民1人当たり	340枚	220枚	**35枚**
[4]	ペットボトル排出量（家庭）	3,600トン	3,400トン	**1,600トン**
	市民1人当たり	90本	90本	**45本**
[5]	使い捨てプラスチック排出量	6.0万トン	5.1万トン	**—***
	食品ロス排出量	9.6万トン	6.1万トン	**4.6万トン**
	市民1人1日当たり	179グラム	114グラム	**87グラム**

同計画
28ページ
の部分拡大

しかし、
目標を立てれば、自動的に実現するわけでは**ない**。
「**使い捨てプラスチック**」の削減目標は、
「計画中間年に**あらためて設定**」することになった。

このことで、何が考えられるか？

市民・事業者への周知、理解、行動が**絶対に必要！**
削減が進まなければ、中間年の「使い捨てプラ」の
削減目標も、「**控えめな数字**にしときましょ」になる。
他地域の人から「**京都も、できなかった**」と言われる。

そこで今回の

そして次回は

プラ削減を進めるうえで
大切なことを、**高月先生**から。
計画策定した京都市の思い、
今後の行動を、**中野部長**から。
キャンパスから地域へ。未来を担う
学生たちとのがんばりを**浅利先生**から。
レジ袋禁止という高いハードルを課した
亀岡市で生まれている新しい動きを
原田先生から報告してもらいます。

京都市内の使い捨てプラ削減に
取り組む８団体に集ってもらい、
どんな活動があるか、カバーでき
ていない分野・領域はどこか、
京都市の担当課長にも来てもらい
話し合い、弱点をどうカバーする
か、話し合います。
他都市・他地域の人たちにとって
も参考になる情報が得られると
思います。

さらにその次には

自分から２Ｒ（リデュース、リユース）
情報を広める人を育みます。
参加募集しています。
ご参加、ご検討ください。

ごみ減の活動に
ご注目ください。

つまり
こんな３段構え

① 京都から減プラ市民行動

↓

② 減プラ活動団体と出会う日

↓

③ ２Ｒメッセンジャー養成講座